

高西っ子情報（ほぼ日刊学校だより）

2024. 2. 6

卒業というゴールが見えてきて



中央階段の壁面に、在校生からの贈り物の「カウントダウンカレンダー」が貼られています。1年生から5年生までが、それぞれ6年生へのメッセージを書き込んで作ったものです。

昼休みの図書室でのこと。支援員の先生に聞いたのですが、6年生数名が、読書に励んでいるそうです。それは、卒業までに100冊をクリアしたいという思いをもったからだそうです。卒業に向けて、目標を新たに立てるのは素晴らしいことだと感心しました。

6年生にとって大きなゴールである卒業がすぐ近くに迫ってきたことで、子どもたちの心にも思うことが生まれてきたようです。



学年や教科を問わず、教室では子ども同士で教え合う・学び合う姿がよく見られます。私たち教師は教える専門家ではありますが、なぜか、子ども同士で教え合うほうがストンと落ちる理解を得られるときがあります。教える方も、相手の理解を考えながら教えていますから、理解が深くなります。



テンポの良い、なじみのある音楽が廊下にも流れてきました。音楽室で演奏しているのは5年生です。曲を尋ねてみると（尋ねなくてもわかってはいたのですが）、「ルパン三世のテーマ」でした。ピアノ、オルガン、バスキー、鍵盤ハーモニカ、リコーダーと、テンポが速いから素早い指使いが必要で難しそうな曲ですが、先生が鳴らす拍子木の音に合わせて上手に演奏できていました。